

平成29年度 第2回 掛川市入札監視委員会議事概要

開催日時	平成30年3月2日(金) 午後3時～午後5時00分
開催場所	掛川市役所 本庁舎 5階 第1委員会室
出席委員	委員長 名波 良明 (税理士) 委員 石川 雅大 (弁護士) 山崎 保寿 (大学院教授) 龍崎 登喜子 (農業)
説明のため出席した職員	経済建設部 土木課長、河川整備室長 都市政策課長 外1名 水道部 水道部長 外2名
事務局	総務部長 管財課長 外3名
議 題	・入札方式別に係る発注案件の審査 (抽出事案は別紙1のとおり)
委員からの意見・質問等とそれに対する回答	・入札方式別工事に係る発注案件の審査 → 別紙2のとおり

抽出案件一覧表

別紙 1

No.	件名	入札方式	担当課
1	平成29年度 橋梁耐震補強事業 城下橋耐震補強工事 平成29年度 橋梁耐震補強事業 綱川橋耐震補強工事	制限付き 一般競争入札	土木課
2	平成29年度 一般配水管改良事業 市道上板沢線他配水管布設替工事	制限付き 一般競争入札	水道課
3	平成29年度 ききょう荘施設改善事業 ききょう荘改修工事(陸屋根防水等)	指名競争入札	都市政策課
4	平成29年度 市単河川整備事業 (普) 一色川改修工事	指名競争入札	土木課
5	平成29年度 一般配水管改良事業 市道桜木本郷線配水管布設替工事 (第4工区 単独)	随意契約	水道課

入札方式別工事に係る発注案件の審査

1. 城下橋耐震補強工事 綱川橋耐震補強工事	
質問	回答
Q 予定価格の算定はどういう方法か。	A 外部委託したコンサルタント事業者が設計書を作成し、市がその設計書に県の標準単価を入れて金額を算出している。
Q 市の積算期間はどれくらいか。	A 積算期間は約2週間。
Q 事業者は約1週間で積算できるのか。	A 公告時に設計書をHPに掲載し、入札までの期間は土日を除き通常10日間。複雑なものは15日間としている。今回は10日間なので期間的には積算可能と考えている。
Q 積算結果はどの事業者も同じようになるのか。	A 事業者がダウンロードできる設計書に単価の記載はなく数量のみ記載されている。用いる単価により積算結果は違ってくる。積算が難しいためこの工事は対象をAランクとしている。
Q 一般競争入札13件が同じ時期に重複して発注されている。工期が同じときに同じ事業者が落札した場合は施工できるのか。	A 入札参加申込み時に配置予定技術者の報告も必要となっている。1人の技術者が複数の現場を担当することはできないため、配置できない場合は入札に参加できない。
Q 同じ時期に公告、入札をしているので、お互い譲り合うような状況になってしまうのではないか。	A 発注時期が重なるのは国・県の補助金の確定時期が同時期になってしまったためと考えられる。

<p>Q 入札参加申込みの資格がある事業者がA・Bランクとなっているが、このランクは落札に影響するのか</p>	<p>A ランクに関係なく入札額が低い事業者が落札する。</p>
<p>Q 事業者のランクが下がったものもいるが、どういった理由か。</p>	<p>A 公共事業の受注が減ったりして完成工事高が減少し経営事項審査結果の点数が低くなるとランクも下がる可能性がある。</p>
<p>Q 入札結果を見ると金額は僅差。ちょっとしたことで落札が決まるが不自然なところはないか。</p>	<p>A 単価の指針が国・県から出ているので精度の高い積算ができる。どの事業者も同じ計算結果が出ている可能性があり、経費の取り方で金額が変わっているのではないかと考えられる。</p>
<p>Q 国・県の単価は公表されていて、事業者も知っているものなのか。同じような積算結果が出るものなのか。</p>	<p>A 情報公開のため、事業者からの申請があれば設計資料等を渡すので、事業者は正確な数値を把握しており、直接工事費はほぼ同じ金額になる。 今回の工事で使用するポリマーセメントは、標準単価がなく見積りにより単価を決めているので、メーカーにより金額の差が出るかもしれない。</p>
<p>Q 入札金額で落札が決まるので95%くらいで落札できると事業者はわかっているのではないか。</p>	<p>A 事業者が努力して算出してきた数字だと考えている。 談合防止対策として、昨年は抜き打ちで詳細な積算内訳書の提出を求めた。今後は複数回提出させるようにしていきたい。</p>

2. 市道上板沢線他配水管布設替工事

質問	回答
<p>Q 本工事施工事業者は、この工事期間中に他の130～200万円の工事7件を受注しているが、施工に問題はないのか。</p>	<p>A この事業者は年間完成工事高1億5000万円超の実績があり、配水管工事とは別に緊急対応可能な班も有しているため、同時期に工事を受注しても施工可能と考えている。</p>
<p>Q 開札の翌日に契約となっているが、1日半では正確な確認はできない。共通様式でもあるのか。契約までの期間をもう少し長くしてはどうかと思う。</p>	<p>A 契約書類について国・県で作成している雛形があり、約款等も決まったものがある。契約までの期間は規則では落札から1週間以内となっている。期間については今後事業者を確認して検討していきたい。</p>
<p>Q 本工事の施工事業者以外は、別途発注した工事のような緊急対応はできないということか。</p>	<p>A 現場に近い事業者に依頼しても、実際すぐに動ける事業者ばかりではなく、緊急対応が必要でこの事業者に工事が重なった。</p>
<p>Q 今回の委員会で取り上げたここまでの3つの工事は、どれも工事現場に近い事業者が落札していると思うがこれは偶然か。事業者が譲り合っているのではないかと受け取る人もいると思う。</p>	<p>A 事業者は地元への意識が強いので、地元の工事を請け負うための努力の結果だと考えている。</p>
<p>Q 技術者のデータベースとはどのようなシステムか。</p>	<p>A 全国の会社実績、技術者等の情報がわかるもので、市町村以外に国・県の工事实績も登録している。技術者実績等のデータは個人情報のため官庁しか見ることができない。</p>

3. ききょう 荘改修工事(陸屋根防水等)

質問	回答
<p>Q 6者指名で3者辞退となっているが、辞退はよく起きるのか。</p>	<p>A 全体からみて塗装工事の発注案件が少なく、規模の小さな事業者も指名したため辞退が増えたのではないかと考えられる。</p>
<p>Q 予定価格に対し、落札者以外の入札額は予定価格を超過しているがどういうことか。</p>	<p>A 指名競争入札で予定価格を公表していないため、入札額が予定価格を上回ることも起こる。</p>
<p>Q 落札者も辞退していた場合は、すべての入札額が予定価格を上回ってしまう。辞退が多いときの対応はどうなるのか。</p>	<p>A 指名競争入札で入札者が1者のみの場合は、入札不成立で入札のやり直しとなる。最低入札額が予定価格を上回る場合は2回目の入札を行い、それでも予定価格に達しない場合は設計書の見直しを行う。設計書に誤りがない場合は、前回指名した事業者とは別の事業者を指名して入札を行う。 なお、一般競争入札の場合、入札者が1者でも入札成立となる。県も同様の対応となっている。</p>
<p>Q 入札した3者の入札額がなぜ大きく違うのか。</p>	<p>A 各事業者がそれぞれ見積りをとって積算しているために差が出てしまったと考えられる。</p>

4. (普) 一色川改修工事

質問	回答
<p>Q 指名競争入札で指名された事業者は、どの事業者が指名されているという情報がわかるのか。また、電子入札システムのセキュリティはどうなっているのか</p>	<p>A どの事業者が指名されているかは事業者にはわからない。 電子入札システムは静岡県が中心となり県・県内市町が使用しており、LGWAN回線という官公庁の専用回線を使用しているので安全確保はされている。事業者はICカードを使用し、認証番号を入力してシステムを使用している。</p>
<p>Q 予定価格は公表していないのに入札額の差が小さいが、どのような理由が考えられるか。</p>	<p>A この工事の場合は、二次製品の設置だけで200万円超がかかっているため、積算するうえでの裁量範囲は少なくなる。金額が少額になると差が出にくくなるのではないかと考えられる。</p>
<p>Q 事業者が二次製品を購入する際の購入先事業者は多いのか。</p>	<p>A 一番近い事業者から購入すれば運搬費が一番安くなるので、落札したどこの事業者も市内で購入していると思う。ただし市内にも複数の事業者があるので同じになるとは限らない。</p>

5. 市道桜木本郷線配水管布設替工事（第4工区 単独）

質問	回答
<p>Q 事業者へ通知をしてから契約まで8日ほどだが一般的に随意契約の場合はこれくらいのスケジュールなのか。</p>	<p>A 通知から見積り合せまで、営業日で中5日間としている。</p>
<p>Q 今回は既存の工事があり、そこに関連する工事なので事業者も予見できると思われるが、まったく初めての工事で5日間で受けるか受けられないかを判断するのは難しいと思う。事前にすり合わせか何かしているのか。時間的な猶予を柔軟に検討してもらえば事業者にとってもやりやすいのではないかと思う。</p>	<p>A 事前に工事の予測はできない。年度当初に今年度の市の工事はいつ頃どのような工事があるか情報公開しているが、細かなものはない。予測は立てたとしても通知が届いてから初めて設計書を見て積算するという流れになる。 この事業者は今回のような1000万円超の工事であれば中5日間あれば充分積算できると考える。工種によっては期間をもう5日間延ばすこともある。設計書を精査して日程を決めている。</p>